

ぶらっと

草津が
もっと好きになる

草津まちなか散歩

「光泉寺」
の周りを
ぶらっと

草津湯畑を見下ろすように建つ草津山光泉寺は、白根明神の別当寺として正治2年(1200年)に草津領主湯本氏が再建したと言い伝えられています。境内には本堂の他に、多くの文化財、記念碑があり散策に最適です。軽い運動もかねて湯畑前から続く石段を登り、春先の草津を感じながら、心と体をリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。

①草津山光泉寺本堂

養老5年(721年)、日本で最初に僧綱の最高位・大僧正の位についた行基によって開基されたといわれており、草津で病人のために祈祷したところ温泉が湧き出し、その鎮護のため薬師如来像を刻みこれを祀った薬師堂を建て、草津山・光泉寺と名付けたと伝えられています。日本温泉三大薬師の一つとして著名です。



⑤宝篋印塔

光泉寺境内には五基の宝篋印塔があり、全てが町指定文化財です。宝篋印塔は、塔の中に経文を納め、先祖供養・現世利益を請願して建てられたとされています。



⑥小林一茶碑

江戸時代後期の俳諧師、江戸から草津までの4泊5日の旅を綴った「草津道の記」の中に記されている句が石碑に刻まれています。



④魚籃観音

明和8年(1771年)、十返舎一九の挿絵にもなる料亭桐屋、高原長右衛門が奉建したものです。造像の目的は、魚介供養のためとされ、その名前の通り、魚を入れた藍を裳裾にさげた姿をしています。

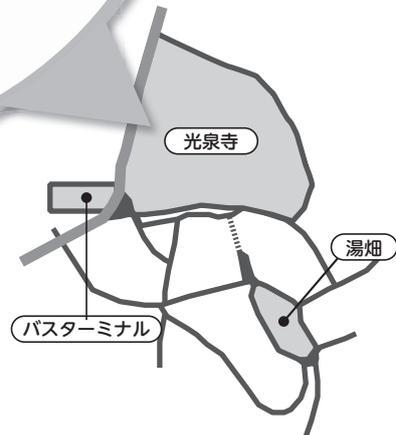
②松尾芭蕉句碑

石碑には加賀の山中温泉で詠んだ名句が刻まれ、山中温泉と並ぶ草津温泉の効能を賞賛したものとされています。石碑の裏には、芭蕉が師と仰いだ仏頂禅師が、芭蕉をたたえた一文が記されています。



③釈迦堂

釈迦堂は元禄16年(1703年)、江戸の医師・外嶋玄賀という人物の発願によって建てられました。元禄時代の様式を残す、県内でも珍しい建造物です。



埼玉県市町村職員共済組合草津保養所

ALPENROSE
アルペンローゼ

お申し込み・お問い合わせ

【草津保養所アルペンローゼ】〒377-1711
群馬県吾妻郡草津町草津 512-2

【埼玉県市町村職員共済組合 施設課】〒330-0064
埼玉県さいたま市浦和区岸町 7-5-14

さいたま共済会館内
(0279)88-1300(代) (048) 822-3304

ホームページアドレス www.saitama-ctv-kyosai.net

草津周辺イベント情報

スノーシューで行く「冬の森ウォッチング」 1月～3月

湯畑特別ライトアップ 3月上旬

草津温泉ノルディックスキーフェスティバル 3月中旬

ザゼンソウ祭り 4月中旬

第19回ツール・ド・草津 4月下旬

志賀草津高原ルート開通 4月下旬

詳しい情報は草津温泉観光協会ホームページ
「湯 Love 草津」をご覧ください。 <http://www.kusatsu-onsen.ne.jp/>